

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第54号

平成30年4月15日

新たな種まき新規事業	4
道の駅リニューアル	6
予算をチェック	8
町政のここを聞く	15
ありゃあどうなったん	26

神石高原中学校卒業式
思い出いっぱいありがとう



アップ

3月定例会

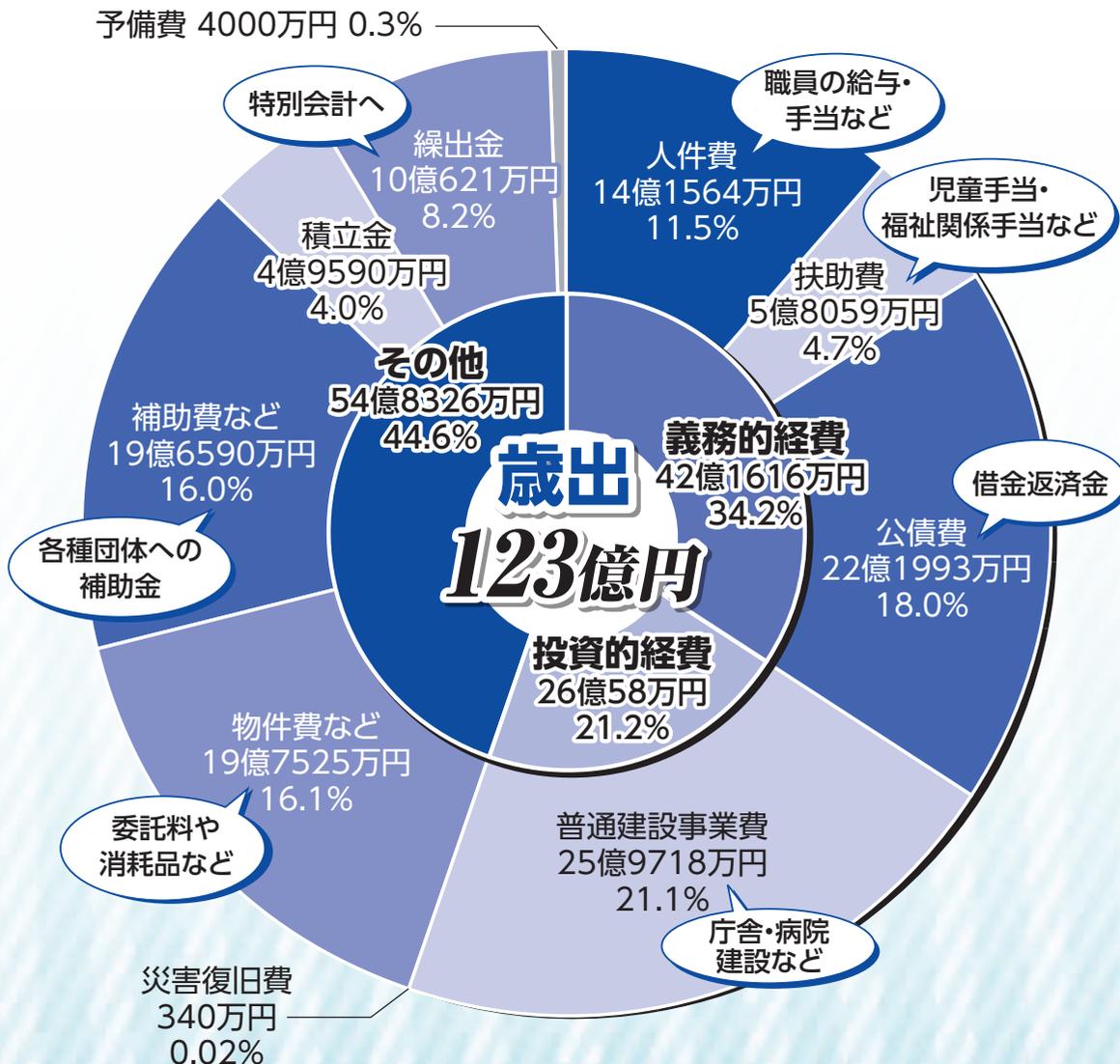
3月定例会は3月6日から3月20日まで開かれました。町長の施策方針の表明があり提出された平成30年度当初予算など102議案を慎重審議しいずれも原案通り可決しました。
一般質問では10人の議員が、町政の課題などについてたどしました。

8つの挑戦の成長と 新たな種まき

種をまいた8つの挑戦から芽吹いてくる「芽」をしっかりと育てるとともに、新たな挑戦の種をまく年。

★は新しい事業

- 1、**超高付加価値農業の実現**
 - ・ブランド化戦略の実行
 - ・さんわ182ステーションリニューアル・新商品開発
- 2、**チャレンジファンドの創設**
 - ・チャレンジ基金の運営・実行
- 3、**協働のまちづくりの推進**
 - ・行政懇談会などの開催
 - ・町民の提言・助言の町政反映
- 4、**世界を相手にできる人財づくり**
 - ★「夢ゼミ」によるスキルの育成
 - ★中学生海外研修
 - ・3歳児から中学生まで一貫した英語教育
- 5、**町民が尊敬しあえる環境づくり**
 - ・達人ネットワーク組織の支援
- 6、**定住促進の強化**
 - ・第2定住促進団地整備
 - ★企業誘致戦略の強化



平成30年度 予算

一般会計 **123**億円

昨年比

25億3000万円 (増)

目指せ人口増

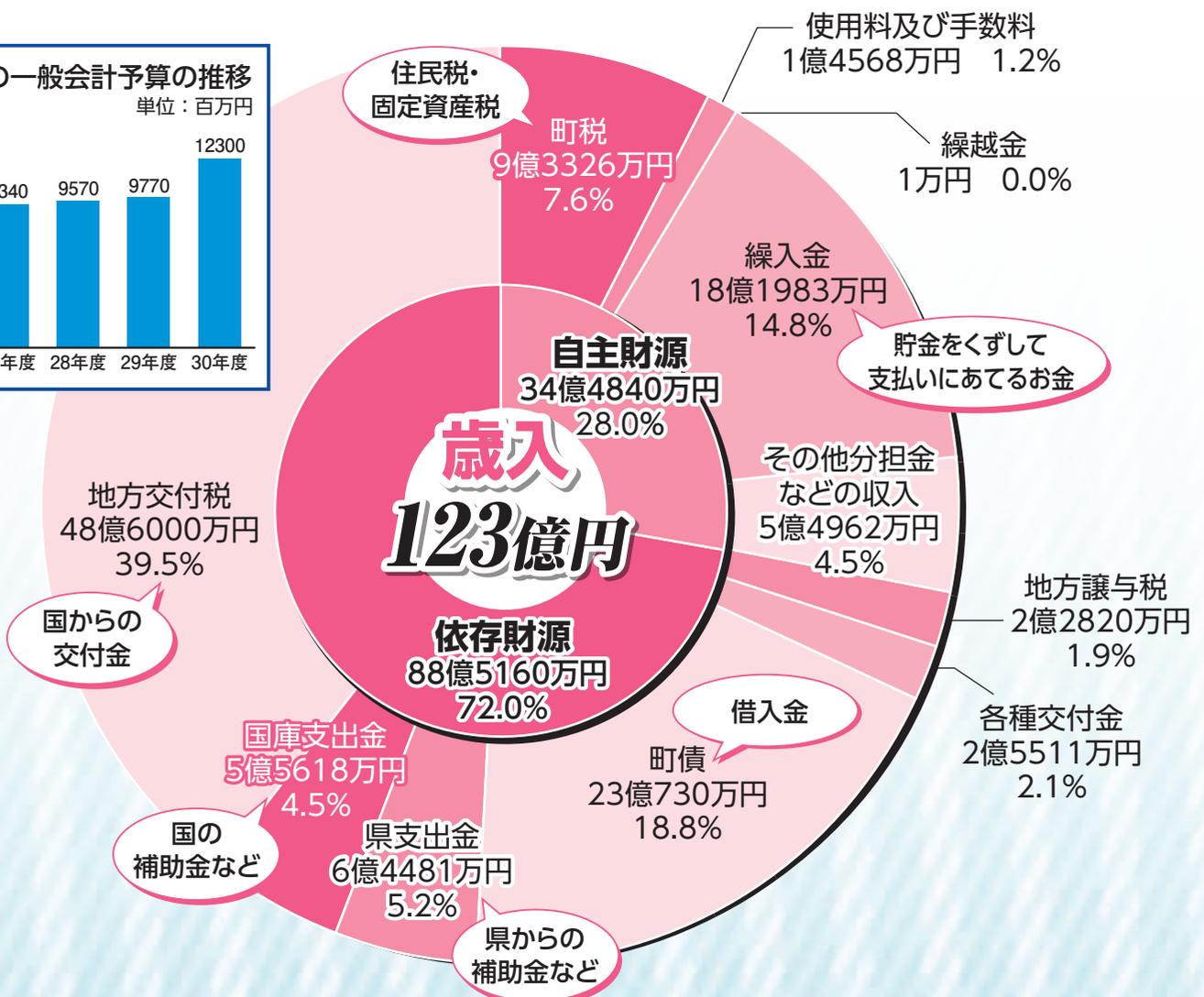
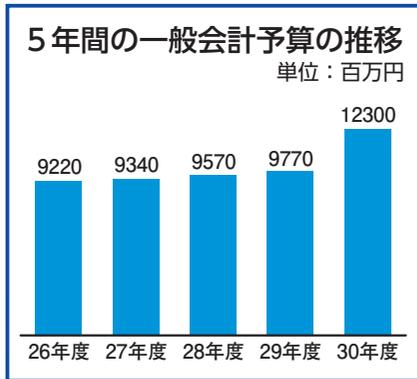
神石高原町の魅力

平成30年度 予算会計別総括表

単位：万円

会計名	H30年度	H29年度	比較	
	当初予算額	当初予算額	増減率	
一般会計	123億0000	97億7000	25.9	
特別会計	国民健康保険	9億7050	12億5380	▲22.6
	後期高齢者医療	3億8540	3億7480	2.8
	介護保険	17億9250	18億5510	▲3.4
	簡易水道事業	2億1250	4億8870	▲56.5
	飲料水供給施設事業	6240	3620	72.4
	農業集落排水事業	2億3700	2億4080	▲1.6
	分収育林事業	10	10	0.0
	総合開発事業	1810		皆増
	計	36億7850	42億4950	▲13.4
	病院事業会計	5億8191	4億0351	44.2
合計	165億6041	144億2301	14.8	

- ★ お試しサテライトオフィス
- ★ 農業企業誘致促進
- ★ トマト団地造成
- 7、医療福祉サービスの充実
 - ・病院建設プロジェクト
 - ・子育て世代包括支援センター開設
 - ・くるみ保育所建設
- 8、行財政改革の推進
 - ・新庁舎建設
 - ・人材育成



★ 自主財源…町へ皆さんが納めるお金
★ 依存財源…国や県からもらえるお金

新たな種まき

新規事業
継続

使い道は

継続

庁舎建設工事



新規

第2定住団地の整備



新規

さんわ182ステーション
クラフトビール開発経費



新規

帝釈の湯
大規模改修工事



過去最高の予算 総額165億円の

新規

新規就農者のための
トマト団地造成



継続

病院建設工事



新規

神石高原町版ネウボラ



新規

ドローン・夢ゼミなどで
油木高校のさらなる魅力化





リニューアルに先がけオープンした「わんぱくトマトガーデン」

道の駅 リニューアル

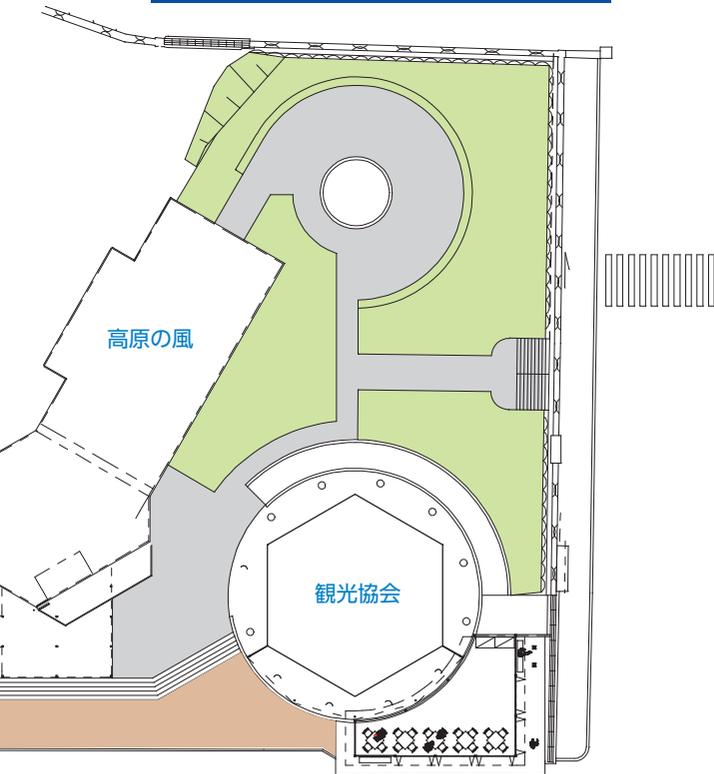
事業費 3億1000万円

売上目標 6億2300万円

道の駅プラン

訪問される方に喜んでもらえる施設にリニューアルし、売り上げ増・出荷者の収入増・神石高原町のブランド化に貢献する。

当初計画案



● 休憩所 改修

- ・ライダー 休憩所を設置しバイク客を増やし認知度を上げる

進化する産直市場

百彩館の今後は

182ステーションとの統合を視野に入れ、農産物の集出荷や新たに楽天市場を活用したネット販売の拠点として位置づけ収益増を目指す。



油木百彩館

まるごと市場からエブライへ

まるごと市場は町農産物のアンテナショップの機能として位置づけ営業を続けてきたが、3月末で廃止となり、エブライ地縁マルシェでの販売となった。4月1日から出荷が始まっている。



エブライ駅家店

リニューアルの内容

●直売所のリニューアル

- ・車いすが通り、カートで買い物ができる売り場の拡張 (540㎡→800㎡)
- ・精肉店がテナントに入り神石牛の販売を行う
- ・生鮮野菜だけでなく、加工食品にも力を入れる
目標売上 2億6068万円→3億3800万円

●売店コーナーを直売所内に設置

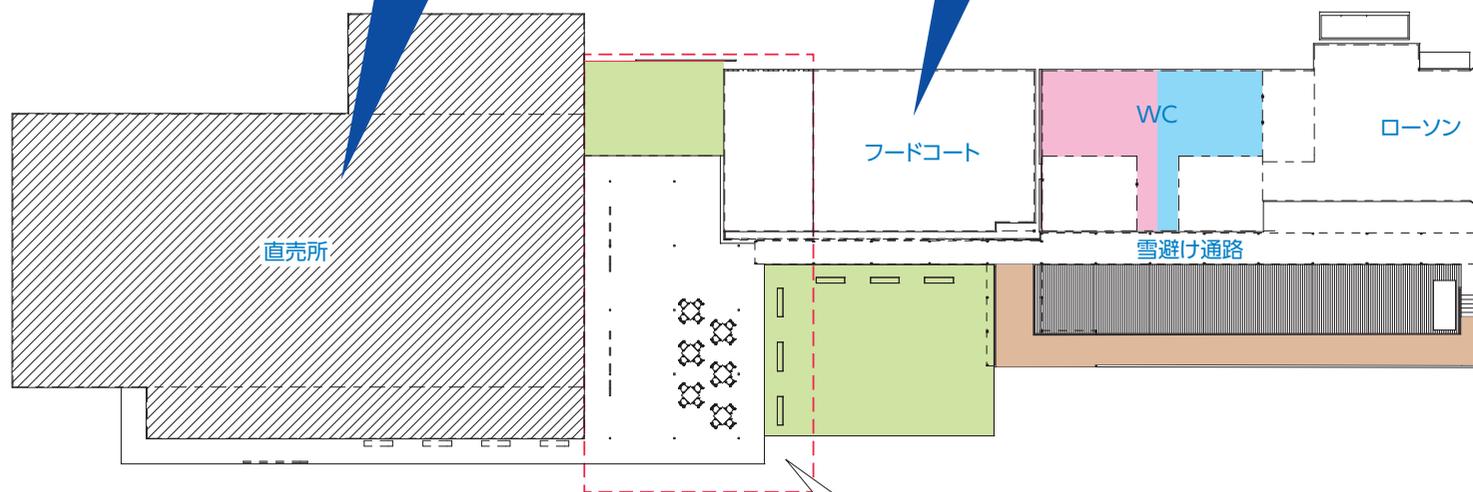
- ・売店コーナーを直売所内へ設ける
- ・182ノベルティグッズの作成販売

●フードコート

- ・料理研究家の監修で神石高原町の特産品を生かしたメニューを提供
目標売上 (売店コーナーとフードコートで) 3600万円→6000万円

●新商品開発 (クラフトビール)

- ・特産品の生姜やトマトを使ったフレーバービールなどを提供する
目標売上 0円→1200万円



●駐車場

- ・現在61台収容の駐車スペースを90台に拡張

既設売り場
取壊し

平成30年度全会計

前年度比
14.8%増

165億6041万円

平成30年度予算審議 予算をチエック

総務課

備蓄物資

橋本議員 備蓄物資の自治振興会への配備は毎年行うのか。

総務課長 防災時の備えとして、毛布、水、食糧を自治振興会へ配備する。毎年それぞれ20個程度配備し、5年で約100個程度備える。

遊休財産処分

赤木議員 保育所の新築にともない、建物が遊休財産化する。公共施設の総合管理計画ではどうなっているのか。



総務課長 計画の中には算入していない。今後地域の活性化など、有効な活用を検討していきたい。

ふれあいタクシー 神石地区町外移動支援

木野山議員 町外買い物支援は、町内経済活性化に繋がらず、納得がいかない。通院のみに限定すべきでは。



老朽化により、新築予定のくるみ保育所

政策企画課

庁舎・病院・バイパス工事

寄定議員 庁舎建設・病院建設と県道小島バイパス工事との連携。

総務課長 神石地区に限っている。アンケート調査によると町外は全体の7割、内2割が買い物、7割が医療機関だった。町外運賃補助はあっても費用負担は大きい。町内商店への影響は少ないと判断した。

チャレンジ基金

横尾議員

チャレンジファンドの回収計画は。将来回収不能となった場合の貸付金の処理は。

調整が必要では。政策企画課長 工期が重なり、混雑が予測されるが、十分連携・調整する。

ふるさと回帰塾

横山議員

ふるさと回帰塾の昨年の反省点と課題を、次年度の計画

上山参事 業務のチェックを行い、リスク回避ができるところへ貸し付ける。返済については、これから各事業主と協議するが、10年以内の回収を想定している。損失補てん金の積立を予定している。

福祉課

障がい者スポーツ

寄定議員 障がい者スポーツ推進の具体的な取り組みは。

にどう生かすのか。政策企画課長 PR不足や計画が甘かった点が反省点だ。次年度では、この点を改めて、200人規模のふるさと回帰塾にしたい。

産業課

道の駅リニューアル

寄定議員

さんわ182ステーションのリニューアル工事の設計が不十分である。

①遊具の近くに多機能トイレを整備

②クラフトビールの原料は水道水でなく源流水と地元産の二条大麦を使用。

③黒一色でなく赤と黒を基調とした外装

④カープと連携協定を結びカープ応援コーナりの設置などを提案する。

町長 提案いただいたものを設計に可能な限り取り入れ、より良いものしていきたい。

赤木議員 長期滞在型を指すのであれば、子どもが遊ぶ新設遊具に近い場所へのトイレ設置が必要では。

産業課長 浄化槽の設置条件などがあり現在設置は考えていない。現在の観光協会のトイレを活用する方向だが、検討が必要だ。

新商品開発
クラフトビール

木野山議員 何故ビール製造か。さっぱり分らない。理解に苦しむ。

道の駅を含め、事業提案まで何の説明もなく、提案内容も具体性を欠いている。

道の駅の本来の目的を再確認し、リニューアルを企画立案すべきだ。

今年度中の完成を目指すには時間がないが、具体的に再度説明し、見直しのうえ、完璧を期せ。

産業課長 平成30年度、単年度での増改築計画だ。詳細な中身を記載した実施設計書が出来次第、再度、検討をお願いしたい。

町長 設計書が出来た段階で提示し、意見を頂き、出来るものは実施していきたい。

小川善久議員 ビール製造に関して、従業員は理解しているのか。

又、水の確保やどれくらいの量を道の駅で販売予定か。

産業課長 従業員に直接は話していない。水は上水道を使用。1週間で333mlを490本販売予定だ。

小川善久議員 赤字の場合道の駅の補填となるが了解されているのか。

副町長 これから役員会や総会で説明をする。赤字を前提に事業を計画せず、赤字になるよう努力する。

久保田議員 コーディネーターは道の駅の職員だが、給与はなぜ町負担か。

産業課長 町有の施設である道の駅リニューアル構想、産直施設統合検討を仕事としているため、町が負担する。



手入れされず、飽和状態にある林の近くには、昼間でもイノシシが出没

久保田議員 ビールの原料は麦だ。町内で生産しているのか。

産業課長 現在、生産者はなく、このたび油木手入地区の農業法人にお願いした。

有害鳥獣処理対策

横山議員 イノシシ有害鳥獣が年間1000頭近く捕獲されている。庄原市も処理場を建設した。本町も処理方法を検討すべきでは。

産業課長 次年度よりイノシシの処理の補助金を6000円にする。かなりのランニングコストもかかるので、今後検討を進めていく。

まちづくり推進課長 2020年から大学入試改革で課題発見解決学習が始まる。油木高校魅力化として、仮称「夢ゼミ」を実施する上で、外部専門家に委託する。

赤木議員 ドローン購入費で、400万あまりの予算が計上されているが、事業規模がはっきりしない中での購入はどうか。

まちづくり推進課長 地域おこし協力隊の経費として計上している。ドローンだけではなく他の物品も見込んでの予算と考えてほしい。

久保田議員 高校魅力化のため、油木高校にドローン学科を設置するのか。

まちづくり推進課長 ドローン学科設置は困難だ。同好会から始める。

橋本議員 地域力アドバイザーとして外部専門家制度の必要性は。

ビジネスコンテスト

木野山議員 課題に継続した支援が必要とあるが、どの様な支援を想定しているのか。

フオーローをしないとビジネスコンテストを行った意味がない。制度化が必要だ。

まちづくり推進課長

提案事業を具現化するには支援が必要。行政だけではなく商工会や金融機関からの支援・経営相談など考えられる。

横山議員 ビジネスコンテストは雇用拡大につながるのか。

まちづくり推進課長

提案された事業が実施をされれば雇用拡大につながるかと考えている。次年度は、個人の部と法人の部をつくる予定だ。

芸術文化振興事業

林議員 神石地区、山村開発センターのオブジェクト「プリマヴェエラ」の補修は、住民の中には前衛的な芸術作品へ予算をかける事に、理解を示さない人も多いが説明を。

まちづくり推進課長

プリマヴェエラは、平成元年に設置され、経年変化で柱に亀裂が入り、歩行者などに危険を及ぼす恐れがあるため維持補修を行う。

ブライダル関連事業

林議員 婚活イベントによりカップル成立後の、アフターフォローができているか。

まちづくり推進課長

イベント会社にお願いでして後追い調査をしている。

環境衛生課

殺処分ゼロ

橋本議員 保護した犬の譲渡する取り組みも行っているが、毎年飼育する犬も増えている。

将来的に町に大きな負担がかかるのでは。

町長 町内の保護した犬については殺処分ゼロの方針があり、計算して取り組んでいく。譲渡も力を入れて



補修後、草刈りはシルバーセンターに委託する（プリマヴェエラ）

いるが、県とも継続するように検討する。

小川善久議員 ピースワンコに対する去勢手術に補助金を出す必要性があるのか。

環境衛生課長 町内の保護犬に対してのみ補助金を支払う。他の団体から譲り受けた犬は、対象外である。

クリーンセンター

横尾議員 クリーンセンター神石の業務委託

業者の試算表などの提出は。環境衛生課長 提出させ確認していく。

第2定住団地計画

小川清治議員 井関第2団地計画による20戸の増で、上下水道施設の容量は大丈夫か。

環境衛生課長 上下水道ともに現在の計画では可能である。

保健課

介護保険料

久保田議員 介護保険料、介護報酬が引き上げになるが介護者の待遇改善はどのように指導・確認されるのか。

保健課長 引き上げ分での待遇改善は確認の方法は困難である。



里親を待つ犬たち

議 論 白 熱

反対
2

反対討論

小川 善久議員
クラフトビル事業は、(有)さんわ182ステーションの、取締役会に説明もななく決定提案されている。これでは、責任の所在も明らかでなく、賛成することが出来ない。よって、反対をいたします。

林 憲志議員
積極投資型の予算であるが、国保税・介護保険料の引き上げが行われる中、住民の格差を是正するような福祉重視の予算にするべきであり、平成30年度予算案に反対します。

賛成
9

賛成討論

木野山孝志議員
一般会計当初予算編成においては、本庁舎・病院建設などの大型プロジェクト事業を控え、財源確保に努めている。
特に、繰り上げ償還を行い、公債費負担の適正化を行うことは大いに評価される。

しかし、多くの新規ソフト事業や大型ハード事業の執行には、多額の単独町費の投下も予測され財政運営の厳しさが見込まれる。
予算の執行にあたっては、特に以下のことについて十分対応されるよう強く要望し賛成する。

1. 新規事業の提案においては、早期に提案し、事業目的、事業効果を明確に示し、住民の理解を得るよう努めること。
2. 事務事業の執行は、スピード化を図り、無駄を極力省くこと。
3. 道の駅のリニューアルは、生産者・出荷者の所得向上という本来の目的を達成するよう、完成を目指すこと。
4. 町内の第3セクター役員及び職員の報酬・賃金においては、公平を期すよう配慮すること。
5. クラフトビル工房の運営は、地産地消を旨とし、安定した経営基盤を確立すること。
6. ドローン活用事業は、長期的な視野に立ち地域課題の解決にむけた活用を望む。
7. チャレンジ基金、ビジネスコンテスト、ふるさと回帰塾など新規ソフト事業は必ず成果を公表しその目的に資するよう努めること。

平成30年度 当初予算 議員賛否表

○ = 賛成 ● = 反対

	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久
神石高原町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
神石高原町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
神石高原町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
その他6特別会計・病院事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わらない

繰越か!

反対 5

×

賛成 6



議案を上程する執行者側

一般会計

補正

▲1億1705万円

総額

107億9670万円

特別会計

補正

▲1億4076万円

総額

42億6079万円

病院事業会計

補正

▲877万円

総額

4億8265万円

計

▲2億6658万円

155億4014万円

おもな補正事業

歳入

項目	補正額	総額	概要
町税	▲927万円	9億7211万円	当初見込みより法人町民税が減
財産収入	3315万円	9578万円	基金運用により収益

歳出

項目	補正額	総額	概要
ふれあいタクシー事業	354万円	6114万円	実績による増額
庁舎建設事業	2376万円	1億446万円	計画変更(保健福祉センター解体)
病院管理運営	▲1200万円	711万円	施設修繕費の減額
有害鳥獣駆除対策	404万円	2983万円	実績見込みによる補正
中学校校舎管理経費	116万円	1521万円	寒波による破損個所の修繕(2校)
財政調整基金積立経費	1582万円	9344万円	基金運用による収益の積立

正補 算予

映画制作なぜ

まちづくり推進課

映画制作は
どうなるの

橋本議員 映画製作費
700万円は、繰越明
許費として計上してあ
る。緊急性を要する事
業と思わない。
やめるべきでは。

町長 平成30年の
6月から8月にかけて
撮影予定。俳優陣も絞
り込み中だ。やめるこ
とは考えていない。是
非とも執行したい。

横尾議員 地域参加型
映画製作事業は平成29
年度の6月と9月補正
予算である。補正予算
を繰り越すことはどう
かと思う。一度ゼロに
戻して再構築しては。

町長 今年の6月
ごろ撮影を行い、ス
マートフォンなどの
ネットで配信したい。

横山議員 映画制作の
予算700万円はこれ
以上増えないか。

町長 これ以上か
かるようなら、根本的
に見直す。

建設課

橋本議員 中山間地域
所得向上支援事業費
は、国費から財源振替
により、一般財源と
なっている。担当職員
や課内の連携不足との
説明だ。慎重に行わな
ければいけない。今後
の対応は。

副町長 建設工事執
行規則が順守できなく
適正に行われてなかつ

た。お詫びする。
再発防止に努める。

学校教育課

横山議員 大寒波によ
り、学校の水道管が破
裂したが、これからは
この寒波を想定して、
なんらかの対策をする
必要があるのでは。

学校教育課長 想定外
の寒波だったので、修
繕が必要となった。対
策を考えていく。

住民課

横尾議員 地籍調査を
早めるためにも三次市
のように森林組合と連
携できないか。

住民課長 協力をする
ようにする。

平成29年度 補正予算 議員賛否表

○ = 賛成 ● = 反対

	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久
神石高原町一般会計補正予算 (第7号)	○	○	○	●	○	●	●	●	○	●	○
その他6特別会計・病院事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わらない

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

人事

教育委員会教育長
馬屋原健治さん（再任）

条例制定

野菜栽培模擬研修施設設置及び
管理条例
笹尾に設置された研修施設の
新設に伴うもの（他1件）

条例の廃止

国民健康保険直営診療所設置及
び管理条例
高蓋にある診療所廃止

条例の一部改正

町営バス条例
利用者減の路線廃止
（町立病院豊松線）

特別会計条例
定住促進団地整備に伴う特別
会計設置

指定管理者の指定

新規
野菜栽培模擬研修施設
株式会社神石高原農業公社
森林公園きのこの森遊具
有限会社さんわ182ステー
ション
（他継続58施設）

国民健康保険税条例
広域化に伴う保険税率の改定
国民健康保険条例
（他11件）
広域化に伴う権限移譲

工期の変更

神石高原町立いずみ保育所建
設工事
工期 平成30年3月16日
→平成30年3月30日

町道路線の認定

平郡屋線（他2路線）
町道開設によるもの

議員賛否表

○ = 賛成 ● = 反対

	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久
工事請負契約の変更（いずみ保育所建設工事）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限措置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
神石高原町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

その他は全員が賛成
議長は採決に加わらない

国民健康保険条例

横尾議員
国保税の広域化は、県と市
町との関連で進んでいる。こ
の方向に進まなければ今後業
務の内容に支障が出ると思わ
れる。

賛成討論

林議員
町の権限が事務のみになる
ことは、地域の実情を理解し
た基礎自治体の責務を放棄し
たとらえる。

反対討論

国民健康保険税条例

横尾議員
広域化は町独自でできるも
のではない、将来の国民保険
の維持という観点で考えらな
い。

賛成討論

久保田議員
被保険者は高齢者が多く保
険料を引き上げると生活はま
すます厳しくなる。財政に余
裕があるなら住民負担を減ら
すべきである。

反対討論

町政の「ココ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします
質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式



橋本 輝久 議員

問 芽吹いてくる「芽」は

答 大きく実らす年にしたい

町長

問 平成29年度に、種をまいた8つの挑戦から芽吹いてくる「芽」の具体的な成果は。

答 町長

- 1. 超高付加価値農業の実現
 - ・ 楽天・テレファームとの包括協定、神（JIN）プレミアムブランドの制度化など
- 2. チャレンジファンDの創設
 - ・ 地域創造チャレンジ基金の設立（4件支

援決定)

3. 協働のまちづくりの推進

・ 協働支援センターの支援

行政懇談会（2回）、まちづくり懇談会（3回）

4. 世界を相手にできる人財づくり

・ バンダバーク クリ スチャン カレッジ などの調印

・ 英語教育の推進
・ ふるさと回帰塾の開催

5. 町民が尊敬しあえる環境づくり

・ 「神石高原こだわり 楽人の会」の設立

6. 定住促進の強化

・ 第2定住促進団地整備の具体化

7. 医療・福祉サービスの充実

・ 町立病院の新築移転の具体化

・ いずみ保育所建設

8. 行財政改革の推進

・ 稼ぐ行政への転換（債券の運用による利子収入と売却益）

問 本年度予算にどう反映するのか。

答 町長 平成30年度は、芽吹いてくる芽をしっかりと育て大きく実らす年にしたい。

財政運営は

問 大型事業に着手する上で、財政状況と今後の財政見通しは。

答 町長 町立病院建設に約30億円、庁舎建設に約24・5億円、合計で54・5億円の大型プロジェクトに

なる。

持続可能な財政運営を維持するために

は、財政健全化に向けた施策を確実に実行しなければ

ならない。

病院・庁舎建設事業債の償還が最大となる平成38年度を目標に、歳入に見合う財政規模の確立に向け取組みを進める。

職員の育成は

問 効果的な業務遂行に向け、職員の育成など具体的な取組みは。

答 町長 平成29年度は、全課を対象と



神（JIN）プレミアム認定証授与式

した調査及びヒアリングを行うとともに、各課に業務改善の目標設定と、実効性ある取組みを指示した。今後は生産性の向上が図られる職場環境の構築に向け取り組む。

その他の質問

独居高齢者の見守り

問 脱走犬の管理責任は

町長

答 基本的には飼い主だ

町長 基本的には飼い主が責任を負うことになっている。

問 町民の安全を守るのは町長の責務ではないのか。立ち入り指導権限がないなら、町で動物管理条例を作ればいいのか。

町長 町に立ち入り権限はなく、県動物愛護センターの立ち入りに同行し、注意指導票を交付した。

問 収容犬が12頭脱走し、6頭保護したが、6頭は見つかっていない。昨年に続き、2回目である。管理責任はないのか。

町長 町に立ち入り権限はなく、県動物愛護センターの立ち入りに同行し、注意指導票を交付した。



久保田 龍泉 議員

問 脱走犬に狂犬病予防注射は接種済みか。また、確認しているか。

環境衛生課長 接種済みの報告は受けているが、現場での確認はできていない。今後は確認するよう努力する。

問 昨年9月末、相渡地区では960頭だった。現在は何頭収容か。

環境衛生課長 1580頭だ。

問 ふるさと納税の対象を再検討すべきでは。

町長 今回の脱走の件と、ふるさと納税を活用しての町づくりは別件なので見直しの考えはない。

米の直接支払交付金廃止後の対応は

問 減反政策が廃止となり、直接支払交付金10a当たり7500円が廃止された。米生産者には大きな打撃だ。農地保全のために何らかの支援ができればか。

町長 米生産に対しては、他産業の従事者や、他作物の生産者に納得して頂くことが困難だ。国は振替、拡充事業として農地の維持に対し多面的機能支払を創設する。

問 多面的機能支払いは、水路の泥上げ、農道補修、草刈りなどで米に直接反映されない。

町長 所得向上を図るため、担い手へ農地集積の拡充を行

う。町単独で、廃止となった支払交付金事業に代わる補助の考えはない。

有害鳥獣処理施設の建設は

問 毎年1000頭近いイノシシが捕獲されている。庄原市は処理場をオープンした。

処理を猟友会に任せきりでなく、町が関与した処理施設建設の考えは。
町長 以前、費用対効果の面で断念した。単独での建設は赤字運営が前提となり近隣市町の状況を注視し、相談しながら検討する。



神石地区古川の田植え風景



小川 清治 議員

問 道の駅計画の決意は

答 地道に確実に事業推進する



町長
道の駅のリニューアルの具体的な内容は。

町長 一日滞在し食べて遊び、町内を周遊誘導出来る施設としている。買い物はカートで出来、陳列台も一段とし、買った物を座って食べられるコーナーも設置する。駐車場も倍増の120台で、導線には雨除け屋根の設置をし、地元特産品を活用した地ビール製造販売、ここでしか買えない商品などで売上は6億円を想定している。

町長
1年間かけて、計画された道の駅プランは、売り場面積の倍増と、神石牛精肉店設置、新たなフードコート、地ビール製造販売、新設コインランドリーなどで年間売上げを133%増の、6億2308万円とし、利益増を目指す素晴らしい計画だ。

町長 地道に確実に事業推進し、町民へしっかり説明し、納得してもらい、成果が出るように努める。

人口減少対策は

問 平成16年合併当時1万2523人が、現在は、9291人となった。当時のひとつの町がなくなった数値だ。

町長 転入人口は変化がないが、子育て支援施策や移住促進事業で、転出人口が減少している。重点施策として、第2定住団地と定住相談員制度を追加した。

町長 転入人口は変化がないが、子育て支援施策や移住促進事業で、転出人口が減少している。

町長 転入人口は変化がないが、子育て支援施策や移住促進事業で、転出人口が減少している。

町長 転入人口は変化がないが、子育て支援施策や移住促進事業で、転出人口が減少している。

町長 地道に確実に事業推進し、町民へしっかり説明し、納得してもらい、成果が出るように努める。

町長 地道に確実に事業推進し、町民へしっかり説明し、納得してもらい、成果が出るように努める。



道の駅リニューアル予想図

問 財政推計と財政運営方針を示せ



答 歳入に見合う規模を実現



木野山 孝志 議員

問 健全財政へ向けての財政運営方針を伺う。

答 町長 歳入に見合う財政規模を実現

問 平成30年度の当初予算規模は、一般会計、特別会計、病院事業会計の合計で16億6041万円（14.8%増）となった。今後の財政推計は、どうなっているのか。

答 町長 当初予算は、庁舎建設などの、合併特例事業の増額と繰上償還約9億円の実施で過去最大の予算となった。平成38年まで厳しい財政運営が続く。

● 人件費については、職員数を削減する。

● 公債費については、起債の借入れは、有利な起債を優先的に活用する。また、繰上償還を定期的に行い、公債費比率の抑制と将来負担の軽減に取り組む。

（投資的経費）

● 新規事業計画の策定と併せて財政推計を行い、計画的な財政運営を行う。合併特例債を活用し、生活環境の充実に努める。

● 建設計画などの事業を確実に実行する一方で、投資的な事業の抑制を図る。

（その他経費）

● 公共施設の最適化を進める。

● 指定管理・民間委託を積極的に実施し、行政組織のスリム化を進める。

● 各種補助事業の見直しを行い、経費の抑制を進める。

ふるさと納税の活用

問 がんばるふるさと応援条例第2条を変更したが、推移は。また、成果の検証はどうするのか。

答 町長 NPO団体への寄附がはじまり、町や自治振興会などへの寄附額も増加している。

問 寄付金は、ふるさと応援条例に定めるとおり、寄附者の意向に沿って運用されているか。

答 町長 本町では寄附金の使途は、寄附者が選べるようにしている。意向に沿った運用がなされていると思う。



新庁舎建設予定地

問 目的外使用は無いのか。検証をしているか。

答 町長 平成30年度からは、NPO団体から活動の決算報告や事業計画などを町に提出していただき、町のホームページに公開する。

問 今後の利活用についての考え方は。

答 町長 町の施策や事業に対する寄附者、寄附額を増やすために、楽天のふるさと納税サイトへも登録する。返礼品なども町内の事業者呼びかけの元に貢献できるものにしていきたい。



藤田 晃己 議員

問 人口減少対策は

答 定住促進事業を強化



問 人口減少対策において、総合戦略が充分機能していないのではないかと。

答 町長 転入超過を實現するための重点施策として定住促進団地事業と定住相談員制度を総合戦略に追加した。

問 土木工事・建設工事において工期が遅れる傾向があるが、何が原因であると認識し、その対策は。

答 町長 建設業者の人手不足・従業員の高齢化、専門者数の減少、下請業者不足、

特殊資材の納品遅れなどが考えられる。早期の発注及び適切な工期の設定、必要に応じた受注業者の負担軽減に努めていく。

子ども議会の提案は

問 子ども議会（次世代議会）における中高生の意見を町政にどう反映させるか。

答 町長 中学生が作曲した「神石の宝」を広島市内のイベントで流した。

蛇口からジュースが出る提案については、道の駅182ステーションで検討していきたい。ドローンの操縦資格取得の提案や活用については、研究や実験を行う組織整備や様々な利活用の可能性を検討していく。

インターナショナルスクール

問 民間会社により設置される全寮制のインターナショナルスクールの本町へのプラス効果と影響は。

答 町長 日本初の文科省認定の全寮制の私立小学校が進められ、計画では児童120人、教職員20人として、世界各地から低年齢層の子供達を受け入れる。

30人程度の職員雇用も見込まれる。雇用の創出、食材や物品購入、観光客や来訪者増加により、経済波及効果も期待できる。

英語やスポーツによる子供同士の交流を通して国際化が推進される。

答 町長 「教育先進地域」として国際



完成したいずみ保育所

答 教育長 町内の児童生徒の交流など、異文化間交流を視

的認知度を向上させることが出来る。マイナスの影響は考えていない。野に入れた取り組みも可能である。

問 新年度予算に込められた思いは

町長

答 人口減少対策を積極的に推進



寄定 秀幸 議員

問 過去最大規模の積極型予算となったが、予算編成に込められた思いは。

答 町長 「人口減少対策」に取り組むため、「まち・ひと・しごと総合戦略」の実現と、「8つの挑戦」を積極的に推進させる予算編成とした。
神石高原町に住み、結婚・出産し、安心して子育てや仕事ができる、子供たちが豊かな心と夢を持ち、地域の未来を担う人材として育っていくよう、本町の自然や豊かな土地資源、地域のつながりなどの魅力を生かした施

策の予算を編成した。人材育成に重点を置く施策を拡充させ、芽吹いてくる芽を育てる新たな挑戦の年とする。

障がい者の自立支援

問 障がいのある方が地域で安心して自立した生活ができる支援は。

答 町長 府中地域障がい者生活支援センター「ハート&ハート」や、精神保健福祉士による相談支援事業など、障がい者支援施策を継続実施する。
また、新設する神石高原町版ネウボラにおいて、発達に課題のある子どもさんの早期発見・早期対応を行う。さらには、障がい者スポーツの推進を図るため、専門的指導員へ依頼し、トレーニングメ

ニューなどの作成指導を行う。

認知症対策

問 認知症高齢者の行方不明者捜索対策として、「GPS装着補助制度」創設を検討すべきでは。

答 町長 GPS機能付きの認知症老人徘徊感知機能は現在介護保険の適用となっていないが、助成をしている自治体もあり、研究していきたい。

就学援助費

問 国の支給要綱改正で、就学援助費の入学前支給が可能となった。就学援助費を入学前に支給すべきでは。



第17回全国障害者スポーツ大会
立幅跳びで銀メダルを獲得された山内政範さん（画面中央）

答 教育長 援助を必要とする時期に速やかな支給が行えることは、必要だと思う。
したがって、小中学校入学年度前に支給できるよう、現支給要綱を改正し、平成31年度入学児童生徒から実施したい。

問 子育て支援としての入学祝金も入学前支給すべきでは。

答 町長 就学援助費と併せ、入学前支給に向けて検討したい。



林 憲志 議員

問 国保税引き上げの見直しを

答 国の動向、加入状況などで検討

町長

問 神石高原町は国保税が、平均で26%の2万6022円の引き上げになると試算が出た。激変緩和期間内に見直しをするのか。

答 町長 「広島県国民健康保険運営方針（案）」では、3年後に中間評価を行い、必要に応じて見直しを行うこととなっている。本町においても、国の動向、加入状況などを踏まえ見直しを行う。

問 本町には常勤の整形外科・小児科医がいらない。国保税の県内統一化をきっかけ

に、医療環境格差の是正はできないのか。

答 町長 医療提供の整備については、自治体ごとの完結型というより、県が示すように二次保健医療圏域（福山・府中）で完結する方向に進んでいる。医療機関へのアクセス確保対策として、ふれあいタクシー事業の充実を行い、通院支援をしている。

問 ドラマ「料理人ワタナベ」の制作進捗状況と今後の取り組みを聞く。

ドラマ制作進捗は

答 町長 現在、神石高原町をはじめ、全国で3市が参加予定である。撮影時期は平成30年6月から8月を予定している。

本町では、昨年9月補正により予算を確保し、撮影協力委員会を起ち上げるなど、準備は整えている。

ドローンの活用は

問 本町は昨年、慶応大SFCや楽天と連携協定を結び、ドローン分野の活用が期待されている。進捗と課題、また今後の展望を聞く。

答 町長 ドローンの活躍の場は、速いスピードで広がっている。ドローンの活用については、研究や実験を行う組織整備や、様々な利活用の可能性を検討する。現在、考えられる事の一つは、大規模災害や火災現場の状況把握を素早く行う事への活用だ。被災地・避難所で今、何が必要か、その現場の様

子を迅速に知り、必要な物資を直ちに届ける必要がある。そこで、無人機を素早く現地に飛ばし、被災地の状況撮影・支援物資の輸送・行方不明者の捜索への活用が考えられる。

その他の活用案としては、農業、測量、物流、映像撮影等無限の可能性がある。チャレンジファンドの応募にドローン学校を町内で始めたい旨の相談があった。活用の課題としては、飛行範囲や飛行ルートの法令による規制だ。



昨年の牧自治振興会運動会

問 転出超過への長期的対策は



答 福山市と連携も視野に



赤木 俊二 議員

問 新しい定住団地を作れば一時期は増える。しかし長期的に

答 対策の重点施策として、定住促進団地事業などを総合戦略に追加した。

答 町長 転入人口は、大きな変化はないが子育て支援施策や移住促進事業により、転出人口が減少している。

問 「神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では年間80人の転入超過を目標にしているが、現状は転出超過となっている。どう対応するか。

問 わが町は基幹産業が農業。農業に對

答 教育長 農業関係校の奨学金や新規に農業を始めるための補助など産業課が支援している。

問 現在油木高校に對して、様々な補助を行っているが、農業関連の補助の比率も上げるべきでは。

油木高校への補助

長期的には福山市との連携も視野に入れ、雇用の促進や子育てしやすい町をPRしながら考えていく。

答 町長 団地は成功事例としてある。子育て世代に特化した土地を売るとか集合住宅も考えている。

はどうするのか。

答 教育長 いかにかが重要。学校全体でそれぞれの児童生徒を注意深く見守るだとか、児童生徒の思いを

問 町内小中学校では、いじめなどの発生防止に様々な対応をとっている。しかし、いじめは発生しないわけではない。対策は。

問 いじめ問題への対応

いじめ問題への対応

答 産業課長 希望があれば話をしている。もともと和牛は飼育している。流れは出来るが、もう少し高校側と話をする必要がある。

する意識づけのために、たとえば、国や県の和牛の共進会を視察研修のための補助などを考えるべきでは。



神石郡畜産共進会に出場した油木高校生徒

答 教育長 現在では改善されつつあると思う。

問 教職員は残業も多い。子供と向き合う時間がとれているのか。

くみ上げていく仕組み作りが大切だ。いじめが発生した場合、神石高原町いじめ防止基本方針に基づき取り組む。

答 教育長 人権に係る重大な問題行動であり学校への指導もしっかりと取り組んでいきたい。

問 いじめとは犯罪であるという教育が必要では。



横山 素子 議員

問 道の駅リニューアルの展望は

答 売り上げ6億円を想定



町長

問 新年度予算では、3億円以上の予算をかけて大規模なリニューアルが計画されているが、その主な内容と、将来展望への町長の思いは。

答 町長 大人や子どもが1日滞在し、食べて遊んで、町内の観光名所に誘導できる施設をコンセプトとしている。

売り場面積の拡大や、地元特産品を使ったクラフトビールの製造販売を行い、ここでしか買えない商品として、顧客アップと売り上げ増を図り、リニューアル後は、6億

円の売り上げを想定している。

問 油木百彩館の今後のあり方について町長の考えは。

答 町長 道の駅のリニューアルの完成に合わせ、平成31年度には、ふたつの産直市場の会社統合を想定している。

統合後は、農産物の集出荷の拠点として位置づけ、エブライ地縁マルシェへの集出荷を継続する。また、新たに楽天市場を活用したネット販売の拠点とし、売り上げ増を目指す。

問 粉工場の活用拡大は。

答 町長 今後は、比較的日持ちする粉加工品は、ネット販売戦略の強みとなることから、活用拡大を図って

いく。

小児医療体制と病児預かり制度の構築は

問 小児医療体制は次年度で構築できるのか。

答 町長 県や福山市医師会の小児科医師に相談しながら体制づくりを進めていく。

将来的な構想は「小児科医のいるまち」が望ましいと考える。

複式学級への対応は

問 町内小学校の複式学級の現状と課題は。

答 教育長 平成30年度では、豊松小学校が複式学級となる。非常勤講師の時間を増やし、効果的な指導方法などを検証していく。

問 非常勤講師の確保と、担任する教職員のスキルアップの計画は。

答 教育長 非常勤講師の確保は年々厳しくなっているが、現時点では経験豊富な先

生の確保が見込まれ、ベテランのスキルを学ぶ場にもなっている。担任教師のスキルアップは、校内人材育成計画に基づき、学校長を中心として、校内研修を実施する予定だ。



複式学級の匠の授業 (来見小学校)

問 協定書の変更が提示されていない



答 当時は必要がないと判断



横尾 正文 議員

答 町長 議会には提示していない。その当時は必要ないと判断されたのだと思う。政策医療交付金は、決算見込みでは、3200万円追加し、合計2億3300万円と見込んでいる。追加分

問 「神石高原町立病院の指定管理」に関する基本協定書の2期目の内容が、変更になっている。議会に変更を提示されていないのはなぜか。
また平成28年度の政策医療交付金は2億2000万円余りだが平成29年度はどのくらいになる予定か。

は、平成30年度の9月議会に補正予算の上程を予定している。清算後は、地方交付税措置額の2億2788万円を512万円超過する見込みである。

問 第3期の指定管理はどうするのか。

答 町長 第3期の指定管理については、継続の必要があると認め、引き続き社会医療法人社団陽正会を、町立病院の指定管理者候補として管理者選定委員会に提案する。

指定管理の内容は、基本的に変更する部分はないと思うが、社会情勢や人口減少などによる地域状況の変化、診療報酬や介護報酬の改定などを考慮し、3年目の平成33年に運営などについて検討することを盛り込む。

そして公募しない理由は、現在の指定管理者に特段の落ち度がない事と、応募がなかった時のリスクが大きすぎることである。

英語教育

問 保育所・小学校・中学校、と一貫した英語教育の実現とあるが、世界を相手にできる人材づくりに必要なのは、国語や読書で教養を身に付けてから英語に取り組むべきでは。

答 町長 英語教育で世界で活躍するグローバルな人材づくりを目指しているが、同時に「世界の文化や習慣を理解すること」や「日本人としての価値観や考え方を身に付けること」も、世界で活躍するために必要な素である。

答 町長 英語教育で世界で活躍するグローバルな人材づくりを目指しているが、同時に「世界の文化や習慣を理解すること」や「日本人としての価値観や考え方を身に付けること」も、世界で活躍するために必要な素である。

答 教育長 英語教育を保育所から取り入れるのは、早い段階から発音などに慣れさせるためであり、小学校からは、外国語の学習を通して言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション能力を育成するためである。

その他の質問

小児科医療体制の構築



国語力を身に付ける事が、英語教育の前提

お知らせ

第6回議会報告会 「過去最高の予算の使い道は」

テーマ

- 道の駅さんわ182ステーション
リニューアル
- 過去最高の新年度予算

日時と場所

5月21日(月) じんせきの里
5月22日(火) 三和協働支援センター
5月23日(水) 油木コミュニティセンター
5月25日(金) 陽光の里文化ホール
全て19時～21時

報告後、皆様との意見交換の場を持つ
予定にしています。
多数のご参加をお待ちしています。



昨年の議会報告会の様子（豊松会場）

議員発議

洪水回避等を目的とした流量
保護のための中小河川の河道
掘削の予算の確保を求める意
見書

1 河道掘削を含む「中小河川緊急治水対
策プロジェクト」については、十分な予
算を確保すること。

2 中小河川を管理する地方自治体がより
柔軟な対応ができるよう、必要な対策を
行うこと。

3 中小河川の河道掘削については、恒久
的な制度となるよう検討すること。

提出者 寄定 秀幸
賛成者 木野山孝志



片道600円で町内どこへでも行けるふれあいタクシー事業の検証の結果報告をします。

利用状況

平成29年12月末現在1619人が利用者証の交付を受けている。

新しくなった内容

- 上限の変更
- 町外の病院利用の場合、町内分は600円。町境から病院までは、町が1/2上限3000円補助に変更。(平成29年10月から施行)

ふれあいタクシー事業

妊婦さんも使えるようになったよ!!

資格要件の緩和(4月1日から)

- 原付・自動二輪免許のみを保有している人。
- 母子手帳を受けた人。出産後1年間に限定。
- 神石地区で利用証の交付を受けている人は東城町・上下町に限り目的を問わず利用可。(町が1/2上限3000円補助)

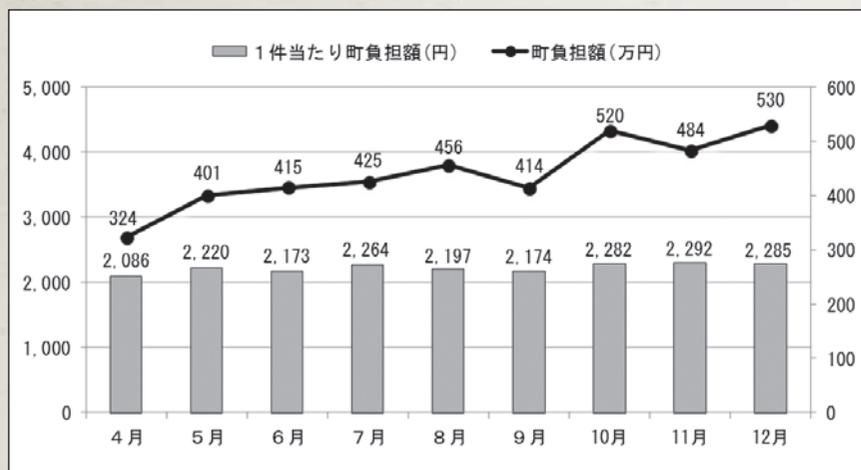
相乗りの状況

半数の人は相乗りをしたことがあり目的は、通院が44.7%。その他集会や買い物。

- 1人で利用している人の理由は
- 近くに一緒に出かける人がいない。 44.7%
- 気を使わず1人で外出したい。 18.7%
- 時間の調整が煩わしい。 12.6%

町負担額

1乗車あたり2200円前後。1ヶ月あたり500万円前後。



ふれあいタクシーに対する町負担額 1件当たり町負担額



継続を望まれるふれあいタクシー



お詫び

第53号15ページ
追跡ありやあどうなったん
創造チャレンジ基金
記事内で平成28年12月に相談会を行ったとの記載がありますが、平成29年12月の間
違いました。深くお詫び申し上げます。

まちの声

●ふれあいタクシーは有難い事業です。いつまでも続くことを願いますが財政も心配です。
(80代 女性)

●大変な冷え込みで大変です。何とか乗り越えていきたいです。皆様も頑張りましょう。
(90代 女性)

●町長の施策方針は折に触れ聞く機会がありますが、具体的に内容を知ろうとで議会だよりが大いに役に立ちます。
(80代 女性)

●一般質問のコーナーで、専門用語が使われています。その意味が最後に書いてあったので良かったです。
(70代 女性)

●いつも関心をもって拝読させていただきます。頑張ってください。
(60代 女性)

●老人にやさしい町づくりはうれしく思う反面、子供のいる若い人や成長する子供に対する町政にも力を入れていただけたらと思っています。
(60代 女性)

●いつも楽しみに拝読しています。私の子供たちは油木高校への進学を考えています。ほかの高校のほうが魅力的に感じる部分があつても、地元を選んだ子が何か励みになるような特待生制度があればと思います。
(30代 女性)

●行政当局・町議会は聞く耳をもつて精進してください。
(70代 男性)

●町道（信号のあるところ）雨の日水たまりができて困っています。
(90代 女性)

議会クイズに
たくさんのご応募
ありがとうございました。
皆様からいただいた
声を受けとめ、前向きに
取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 未来
- ② 創造
- ③ 流星

第35回議会クイズ当選者

油木地区
小川 一美さん
おめでとうございました。

表彰 在職25年以上

小川清治議員が町議会議員として広島県町村議会議長会から在職25年以上の功績を称えられ表彰されました。



小川清治議員

表彰 広報誌コンクール3連覇

「みんなの町議会第50号」が第38回議会広報コンクールと、第35回議会広報写真コンクールにおいて、ともに広島県で最優秀賞を受賞しました。

この受賞を励みに、さらに住民の皆様にも親しまれる広報誌を目指します。



受賞誌

元気なグループ紹介だよ!



体協油木支部

バレーボール部

私たち体協油木支部バレーボール部は、毎週火曜日の夜8時30分から10時まで油木体育館に集まり練習しています。



毎年9月に行われる神石高原町バレーボール大会に出場し、昨年は男女共に優勝し、広島市で行われた県大会に出場することができました。残念ながら県大会では1回戦で負けてしまっただので、今年も町大会での優勝、県大会での1勝を目標に練習に励んでいます。部員の募集もしています。バレーボールがやってみたい：体を動かしたい：などと思っておられる方はぜひ一緒にやりましょう!!

代表 広川 友美

発行責任者 議長 松本彰夫
住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は
6月です

編集後記

この度誌面をリニューアルしました。議会の様子をしっかり伝えることもですが、読む方が少しでも元気になれるような広報誌にしたいとの思いからです。

別れと出会いの季節。皆様方にいい出会いがあるよう願ってやみません。

今後ともよろしくお祈りします。

(赤木)

議会広報常任委員会	委員	木野山孝志
委員長 赤木 俊二	委員	林 憲志
副委員長 横山 素子	委員	小川 善久

第36回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉を
いれてください

- 1 P3 目指せ〇〇〇
神石高原の魅力アップ
- 2 P12 映画〇〇なぜ線越か
- 3 P26 〇〇〇〇タクシー事業

ヒント

議会広報を
よく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島二〇二五番地
神石高原町議会事務局「第36回議会クイズ係宛」

●締め切り

5月10日(木) 消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。